

日本版DMO形成・確立計画

1. 日本版DMOの組織

申請区分	広域連携DMO・地域連携DMO・地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	(一社) 八重山ビクターズビューロー (以下「YVB」)	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	沖縄県石垣市、竹富町、与那国町	
所在地	沖縄県石垣市大川 547 番地興ビル 206 号室	
設立時期	平成 27 年 4 月 1 日	
職員数	7 人	
代表者 (トップ人材: 法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者) ※必ず記入すること	中山 義隆 (石垣市長) (兼任)	石垣市の市長を務めており、竹富町、与那国町を含む 3 市町の連携エリア「八重山地区」を代表し取りまとめている。国内外への観光誘致等においてもトップセールスを積極的に実施する等行動している。本ビューロー設立時より代表理事を務めている。
各種データの分析・収集等 (マーケティング) の責任者 (専門人材) ※必ず記入すること	東川平 靖 (専従) 出身組織名: 日本トランスオー航空(株)	航空会社に 35 年勤務。取締役就任時には、企業経営や総務人事マネジメント等、また、営業販売担務にて観光地域マーケティングに高い知見と能力を持って商品開発造成業務に携わる。
国内外におけるプロモーションの責任者 (専門人材)	濱田 智佳子 (専従) 出身組織: 当一社	YVB 設立時の事務局を担当 4 年に至る。YVB 設立前は石垣市観光協会に 6 年間勤務。八重山地域の観光振興について取り組む。特に海外インバウンド誘致に取り組んできた。
各部門 (例: 旅行商品の造成・販売) の責任者 (専門人材)	西嶋 良洋 (専従) 出身組織名: (株)日本旅行	旅行会社に 36 年間勤務。主にインバウンド業務に携わり、ツアー造成や販売手法に関する経験が豊富である。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	石垣市 企画部 (地域社会総合企画推進) 企画部観光文化スポーツ局観光文化課 (マーケティング・観光推進) 竹富町 政策推進課 (社会資本整備・観光推進・公共交通) 与那国町 企画財政課 (社会資本整備・観光推進・公共交通) 八重山広域市町村圏事務組合 (地域連携) 沖縄県文化観光スポーツ部 (観光政策、受入整備等) 沖縄県 八重山事務所総務課 (地域観光誘致推進)	
連携する事業者名及び役割	【八重圏域内観光振興対策の推進】 ・石垣市商工会、竹富町商工会、与那国町商工会、八重山経済人会議、JA おきなわやえやま、八重山漁業協同組合、石垣島特産品詰め隊 (物産・施設) ・八重山タクシー事業協同組合、東バス、八重山観光フェリー・安栄観光 (二次交通) ・沖縄県建設業協会八重山支部、八重山地区宅地建物取引業者会 (宿泊施設)	

(別添) 様式 1

<p>連携する事業者名及び役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海上保安庁第 11 管区 (修学旅行) 【八重圏域観光資源の開発及び受入体制整備】 ・石垣市観光交流協会、竹富町観光協会、与那国町観光協会、
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>(該当する要件)</p> <p>①取締役、理事など日本版DMOの意思決定に関与できる立場で行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参画すること ⇒石垣市長、竹富町長、与那国町長、沖縄県八重山事務所所長、石垣市観光交流協会会長、竹富町観光協会会長、与那国町観光協会会長、石垣市商工会会長、竹富町商工会会長、与那国町商工会会長、八重山経済人会議代表が理事として参画。YVB 常任の専務理事が中核となり理事会を定期的実施している。</p> <p>②日本版DMOの組織内に行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置すること ⇒組織内に多様な関係者で構成される各種委員会の中核的立場として「八重山圏域ビジョン推進戦略室」を設置し委員会を運営する。圏域における問題や課題、要望・提案意見等を集約し、県や3市町の政策提言や実現に向けた協議を行うべく、現在「八重山圏域ビジョン会議」を月1回に開催。次年度は(仮)各種ワーキンググループでは個別の議題を議論する場とする。 圏域内の実務者の情報交換会を定期的実施すると共に県・OCVB 連絡会等各種連絡会への参加にて情報収集・共有を図る。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 八重山圏域における居住者意見の収集として地域団体任意参加者を含むワークショップの実施と行政が実施する住民意識調査結果の共有と対応策の検討。2019年1月～3月(4回実施計画) * 地域住民含めた「DMO」の理解と啓発を目的としたシンポジウムを開催 2018年8月・12月(2019年3月予定) * 八重山商工高等学校「観光コース」の授業の一環として、‘島の宝の再発見’をテーマにツアー商品開発やパンフレットを制作。毎年都内の大学生と連携し渋谷ロフトでツアー販売を行う。 * ユニバーサルツーリズムの理解と啓発を目的としたセミナー。(沖縄県と連携・2018年8月) * 竹富町の観光従事者を対象にインバウンド観光客の受入意識調査(・2018年12月～2019年3月)。座談会も併せて実施。 * 石垣市によるWEB上での住民向け観光意識調査(2018年)
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要)</p> <p>石垣市・竹富町・与那国町のエリアを対象地域として、1市2町の行政を主に沖縄県を含めて連携をし、官民一体となった八重山諸島への観光誘致プロモーションと情報発信並びに受入体制整備を行ってきている。受託事業を主な業務としつつ各関係団体とも協力し毎年東京・大阪にて「八重山観光感謝のつどい&セミナー」を開催。特に空路直行便の充実やインバウンドの受入整備等に取り組む。その他国内外への誘致活動や情報発信、受入れ体制の整備などに取り組んでいる。例年3月には「日本最南端!八重山の海びらき」を開催し八重山観光大使を担う「ミス八重山」選出管理等も行う。</p> <p>(定量的な評価)</p> <p>平成13年の米国の同時多発テロ事件以降、1市2町が連携をして八重山諸島として観光産業の振興を図ることが重要であるとの観点から設立。平成13年</p>

法人のこれまでの活動実績	<p>に設立以降、専従事務局を設けず任意団体として活動を続け、平成 27 年に法人団体へ移行。</p> <p>1. 自主事業</p> <p>(1) 収益事業</p> <p>* 八重山観光親善大使 (ミス八重山)</p> <p>ミス八重山の管理運営。国内外における八重山観光関連公式行事やイベントにおいて、八重山観光のPRと親善交流を実施。個人ダイレクトマーケティングの一環としてのSNS情報発信も実施</p> <p>2018 年派遣実績：152 回 (2 人合計)</p> <p>公式 SNS 管理運営</p> <p>Facebook：フォロワー数 5,176 人 (2019 年 1 月現在)</p> <p>Instagram：フォロワー数 3,931 人 (2019 年 1 月現在)</p> <p>(2) イベント</p> <p>* 八重山観光感謝のつどい</p> <p>これまで八重山観光振興にご尽力いただいた関係者への感謝の意を伝えるとともに、八重山観光の方針や取り組みを発信し共有する機会として実施。</p> <p>平成 27 年度 (東京開催)：241 名参加 (内八重山行政・民間 60 名)</p> <p>平成 28 年度 (大阪開催)：218 名参加 (内八重山行政・民間 71 名)</p> <p>平成 29 年度 (東京開催)：203 名参加 (内八重山行政・民間 70 名)</p> <p>平成 30 年度 (大阪開催)：110 名参加 (内八重山行政・民間 38 名)</p> <p>* 八重山の海びらき</p> <p>「日本最南端の海開き」の会場を毎年開催地変更しながら、「ミス八重山」の発表を同時に実行することにより、それぞれの地域のPR効果を高める。</p> <p>平成 27 年度 (石垣島開催)：約 300 名参加</p> <p>平成 28 年度 (小浜島開催)：約 1,500 名参加</p> <p>平成 29 年度 (石垣島開催)：約 1,000 名参加</p> <p>平成 30 年度 (与那国島開催)：2019 年 3 月 24 日開催</p> <p>(3) 統計数値</p> <p>* 八重山入域観光客数</p> <p>平成 27 年 1,115,051 人 (対前年比 99.4%)</p> <p>平成 28 年 1,248,079 人 (対前年比 111.9%)</p> <p>平成 29 年 1,386,646 人 (対前年比 111.1%)</p> <p>平成 30 年 約 1,370,000 人見込み</p> <p>平成 16 年～平成 22 年の間、八重山の年間入域観光客数は 70 万人台の記録が続いていたが、平成 25 年の南ぬ島石垣空港開港後、観光客数は大幅に伸び、平成 25 年の八重山入域観光客数は 942,964 人を記録。平成 26 年は初の 100 万人台を記録し観光入域客数は増加を続けている。</p> <p>2. 沖縄県からの委託及び補助事業 (離島活性化促進事業)</p> <p>(1) 国内誘客事業</p> <p>* 八重山圏域の出入口である新石垣空港開港 (2013 年) 以降、国内主要都市マーケットからの直行便でのルート開設が行われてきた。那覇経由よりも効率性が増す直行便の通年化や座席供給増を図るべく、マーケットにおける誘客プロモーションを実施。(福岡便通年化/名古屋便活性化)</p> <p>* 八重山圏域においても従来の団体旅客から個人旅客へ大きく変化している中、圏域内 11 の有人島をミス八重山により SNS 発信 PR。</p> <p>* 圏域内でも最も観光客の少ない与那国島 (17 年度過去最高 4 万人) へのター</p>
--------------	--

	<p>ゲットを 30 代～40 代（今年度 50 代を試験的に実施）女子として「絶景、冒険、島ハーブ。2泊3日、国境島旅。～美人を増やせ。与那国島～」をコンセプトに Web 構築し情報発信。モニターツアーの実施 WEBサイト：https://yngn.okinawa/ モニターツアー 平成 29 年度：インフルエンサー（ライター等）4 名 一般女性 1 名（全国より WEB 応募数約 400 名） 平成 30 年度：一般女性 3 名（30 代・40 代・50 代）</p> <p>(2) 海外誘客事業</p> <ul style="list-style-type: none">* 八重山圏域の出入口である新石垣空港開港(2013 年)以降、近距離東アジア地区として台湾(桃園)、香港より定期便が就航。当該路線の就航通年化並びに需要増施策として、香港における TOP セールス並びにマーケットプロモーションや LCC と連携した香港 MICE 招聘現地視察商談会の実施。 平成 30 年度：招聘者数・13 名…香港旅行会社(MICE 担当者)等 地元参加者数(商談会)…27 名(観光施設)* 海外新規市場として、沖縄本島へのインバウンド需要が旺盛な韓国マーケットよりの八重山圏域への誘客を図るべく韓国での八重山 PR と商談会や沖縄本島への直行便が開設され経路需要開拓すべくシンガポールでの誘客プロモーション実施。* 外国人観光客向け「八重山諸島パンフレット(英・韓・繁)」制作* 外国人観光客向け(英・韓・繁・簡)の八重山圏域紹介 Web の構築 WEBサイト：http://yaeyamaislands.jp/ (2018 年 12 月開設) <p>(3) 需要平準化対策事業</p> <ul style="list-style-type: none">* 夏季と冬季における八重山圏域を訪れる観光客数の差が大きいため、冬場のプロモーションの強化を図る。※参考数値 八重山入域観光客数：107,347 人(2017 年 7 月)、57,450 人(2017 年 1 月) 冬季の閑散期に需要が高い教育旅行市場の誘致を実施。特に沖縄本島より更なる先島の八重山圏域への県外からの修学旅行は費用負担が嵩むことで伸び悩む状況にある。航空会社が一部路線に対して修学旅行運の低減化を実施したことも含めて関東エリアへの新規開拓プロモーションや事前学習ガイドの利用促進を図る。 <p>3. 八重山教育旅行誘致委員会</p> <ul style="list-style-type: none">* 民間企業を会員とする「八重山教育旅行誘致委員会」を管理 会員数：32 会員(2019 年 1 月現在)* 八重山教育旅行誘致委員会 WEB サイト管理運営 http://shuryo.yvb.jp/* 旅行会社・学校関係者向け「八重山教育旅行のしおり」制作 来島学校の生徒向け「八重山事前学習ガイド」制作* 活動実績 誘致活動：八重山諸島への修学旅行実施の可能性ある地域の旅行会社や学校関係者へ訪問活動を行う。 [訪問キャラバン地域] 平成 28 年度：大阪府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県 平成 29 年度：東京都内・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県 平成 30 年度：関西地区全般・三重県・滋賀県・京都府・奈良県・岡山県・広島県・鳥取県・島根県・山口県・福岡県 現地視察会：航空会社・旅行会社と連携して、私学学校の教諭を八重山諸島へ招待し視察をしてもらう。 [視察会参加者数]
--	---

(別添) 様式 1

	<p>平成 28 年度：私立学校 13 校 19 名 平成 29 年度：私立学校 13 校 17 名 平成 30 年度：平成 31 年 3 月 21 日～24 日実施予定</p> <p>(4) 観光予報プラットフォーム * 八重山圏域の宿泊者の分析。(2019 年 1 月末)</p>
<p>実施体制</p>	<p>(実施体制の概要) 石垣市・竹富町・与那国町の行政、沖縄県八重山事務所・八重山広域市町村圏事務組合・八重山経済人会議・石垣市商工会・竹富町商工会・与那国町商工会・石垣市観光交流協会・竹富町観光協会・与那国町観光協会の計 12 団体で組織されている。沖縄県よりの地域観光政策に関する受託事業による連携や各自治体との連携。また、民間企業との連携で、「八重山教育旅行誘致委員会」「八重山圏域ビジョン会議」を設置。</p> <p>(実施体制図)</p> <p style="text-align: center;">YVB組織図 (Phase1 [FY18-2])</p> <p>※合意形成の仕組みにおいて、DMOが中核的立場であること、また合意形成の仕組みに参画する関係者が具体的に分かるよう記載すること。 (別添可)</p>

2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲】 日本最南西端の八重山諸島：
 石垣島・竹富島・小浜島・西表島・黒島・鳩間島・新城島・加屋真島・与那国島・由布島・波照間島

(別添) 様式 1



【区域設定の考え方】

八重山圏域における11の有人島が個々に魅力を保持し八重山の観光と経済発展に寄与してきた歴史を含め、また小規模離島の地域単独での観光への注力が限定的なこともあり3市町が一になり取組むことや、地域の多様な観光と経済関連団体と連携を強化し、観光客の誘致と受入体制整備を図ることにより観光事業を軸とした地域経済への波及効果と文化の向上促進を図り、併せて地域住民の幸福向上に寄与することを目指す。

【観光客の実態等】

平成28年1月～平成28年12月													(単位:人)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
入域観光客数	68,438	99,708	119,857	103,597	107,541	102,689	110,587	136,234	110,479	115,949	89,567	83,433	1,248,079
内日本人	65,701	76,353	91,027	84,165	91,380	82,138	96,156	122,601	100,054	101,452	75,353	67,925	1,054,305
内外国人	2,737	23,355	28,830	19,432	16,161	20,551	14,431	13,633	10,425	14,497	14,214	15,508	193,774
台湾	1,676	7,947	8,256	6,767	9,220	9,276	8,003	7,573	5,666	7,854	7,970	7,866	88,074
香港	10	1,453	3,583	147	281	1,539	1,733	1,503	1,433	1,314	1,094	1,052	15,142
上海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国(上記以外)	1	4,621	3,938	5,653	18	2,242	88	101	90	183	45	87	17,067
韓国	0	162	0	3	4	6	13	8	2	5	3	15	221
アジア(上記以外)	6	277	187	162	245	285	95	32	83	63	134	256	1,825
その他諸外国	1,044	8,895	12,866	6,700	6,393	7,203	4,499	4,416	3,151	5,078	4,968	6,232	71,445
平成29年1月～平成29年12月													(単位:人)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
入域観光客数	87,766	96,147	122,789	118,650	101,984	127,000	144,693	160,441	113,544	124,335	108,490	80,807	1,386,646
内日本人	69,251	74,638	99,175	94,994	88,351	107,880	128,603	140,619	88,060	106,010	99,915	71,283	1,168,779
内外国人	18,515	21,509	23,614	23,656	13,633	19,120	16,090	19,822	25,484	18,325	8,575	9,524	217,867
台湾	7,562	10,167	8,161	9,075	6,846	10,005	7,440	8,502	5,434	3,370	3,562	4,316	84,440
香港	1,354	1,015	1,440	2,715	3,005	2,912	3,223	3,510	6,152	2,516	989	1,038	29,869
マカオ	1	51	1	50	2	10	0	0	0	0	0	0	115
中国(上記以外)	1,922	3,942	2,464	3,900	120	134	203	1,821	2,768	6,668	50	43	24,035
韓国	171	5	5	10	9	4	1	22	173	339	4	21	764
アジア(上記以外)	136	46	276	112	140	73	57	100	60	90	44	33	1,167
その他諸外国	7,369	6,283	11,267	7,794	3,511	5,982	5,166	5,867	10,897	5,342	3,926	4,073	77,477

* 八重山入域観光客統計概況より

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

<観光地・施設>

石垣島：川平湾・米原キャンプ場・バナナ公園・御願崎・海水浴場・玉取崎展望台・平久保灯台・

(別添) 様式 1

石垣市立博物館・八重山平和祈念館・具志堅用高記念館・唐人墓・国立天文台、他
 竹富島：竹富島ビジターセンターゆがふ館・カイジ浜・コンドイビーチ・竹富民芸館・他
 小浜島：ちゅらさん展望台・大岳・シュガーロード・他
 西表島：西表野生生物保護センター・仲間川・浦内川・由布島（水牛車）・マリユウドの滝・他
 鳩間島：前の浜・鳩間島展望台・他
 黒島：黒島ビジターセンター・プズマリ・黒島研究所・仲本海岸・他
 波照間島：星空観測タワー・日本最南端の碑・他
 与那国島：Dr. コトー診療所ロケ地・日本最西端の碑・与那国町伝統工芸館・DiDi 与那国島歴史文化交流資料館・立神岩・ティンダバナ・他

<伝統文化>

みんさ一織・草木染手織・八重山上布・陶芸・焼き物・伝統行事の面・アングマ・獅子舞等

<イベント>

各地の伝統行事(豊年祭・ハーリー・種取祭・節祭り・他)

石垣島まつり・南の島の星まつり・黒島牛まつり・マラソン(石垣・西表島・与那国島)・与那国島国際カジキ釣り大会・音楽祭(鳩間島・西表島・石垣島)、他

<スポーツ>

- * グレートアース石垣島ライド大会
- * 石垣島トライアスロン大会
- * 球団「千葉ロッテマリーンズ」春季キャンプ(2月)
- * サッカー「横浜F.マリノス」春季キャンプ(1月)

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

*平成28年12月31日現在

単位：人・軒

		石垣市	竹富町	与那国町	合計
ホテル・旅館	軒数	45	18	7	70
	収容人員	7,865	2,533	374	10,772
民宿・ペンション・貸別荘	軒数	116	118	17	251
	収容人員	1,668	1,752	360	3,780
その他(ユースホステル等)	軒数	59	22	2	83
	収容人員	926	394	18	1,338
合計	軒数	220	158	26	404
	収容人員	10,459	4,679	752	1,5890

*平成29年12月31日現在

		石垣市	竹富町	与那国町	合計
ホテル・旅館	軒数	53	20	7	80
	収容人員	8,783	2,541	380	11,704
民宿・ペンション・貸別荘	軒数	142	116	16	274
	収容人員	1,870	1,703	350	3,932
その他(ユースホステル等)	軒数	63	22	2	87
	収容人員	1,146	394	21	1,561
合計	軒数	258	158	25	441
	収容人員	11,799	4,638	760	17,197

*沖縄県 宿泊施設実態調査

【利便性：区域までの交通、域内交通】

➤ 県外・国外から八重山圏域までの交通

(別添) 様式 1

石垣空港⇄東京国際空港 (羽田)	日本トランスオーシャン航空・全日空空輸		
石垣空港⇄成田国際空港	バニラ航空		
石垣空港⇄中部国際空港	全日本空輸		
石垣空港⇄関西国際空港	日本トランスオーシャン航空・全日本空輸・Peach Aviation		
石垣空港⇄大阪国際空港 (伊丹)	全日本空輸 ※夏季のみ		
石垣空港⇄福岡空港	全日本空輸		
石垣空港⇄香港国際空港	香港エクスプレス		
石垣空港⇄台湾桃園空港	中華航空		
➤ 県内での交通			
石垣空港⇄那覇空港	日本トランスオーシャン航空・琉球エアークommューター・全日本空輸 ソラシドエア・バニラエア		
石垣空港⇄宮古空港	琉球エアークommューター		
石垣空港⇄与那国空港	琉球エアークommューター		
与那国空港⇄那覇空港	琉球エアークommューター		
➤ 八重山圏域内の交通			
船で… 石垣島離島ターミナルから各離島へ			
航路	所要時間	会社名	
→ 竹富島	10分	八重山観光フェリー 安栄観光 石垣島ドリーム観光	
→ 西表島(大原港)	35-45分		
→ 西表島(上原港)	40-45分		
→ 小浜島	25-35分		
→ 黒島	25-35分		
→ 鳩間島	40-55分	八重山観光フェリー/安栄観光	
→ 波照間島	60分	安栄観光	
→ 与那国島	4時間	福山海運	
航路	所要時間	会社名	
→ 与那国島	30-35分	JTA(RAC)	
八重山観光フェリー	☎0980-82-5010	福山海運	☎0980-82-4962
安栄観光	☎0980-83-0055	JTA(RAC)	☎0570-025-071
石垣島ドリーム観光	☎0980-84-3178		

【外国人観光客への対応】

- * 空港案内所での多言語対応 (石垣市・空港ターミナルが運営)
- * 石垣市による観光従事者向け語学研修 (英語・中国語)
- * 民間事業者による外国人人材バンクの設置
- * 多言語対応のパンフレット制作
- * WEB サイトでの情報配信
- * 沖縄県が実施する「多言語コンタクトセンター」の活用促進

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
年間入域客数	他都道府県、県内他地域との比較により、誘客施策の基礎データとして	「八重山観光客数統計概況」による
旅行消費額	観光消費による経済波及効果を把握	「沖縄県観光統計実態調査」「沖縄
延べ宿泊者数	観光客の宿泊エリア・動向を把握	

(別添) 様式 1

来訪者満足度	八重山圏域に対しての観光客の評価を把握することで、継続的に旅行者の訪れる観光地域づくりの為	県外国人観光客実態調査報告書「八重山観光客数統計概況」による
リピーター率	観光客の実態を把握によって、ターゲットを明確にする為	
WEBサイトのアクセス状況	八重山圏域に対する顧客の関心度や施策の効果を把握するため	グーグルアナリティクスを活用して実施
八重山圏域の教育旅行学校数	本圏域に訪れる来島する学校数を把握するため。	八重山教育旅行誘致委員会並びに島内全バス会社へアンケートを実施
八重山圏域の住民満足度 (2019年1~3月予定)	地域住民の観光に対する意識を把握するため	プレミアムパネル(NTTドコモ)を利用した調査。(携帯・市街地等でのタッチパネル方式)

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) ・自地域で積極的に活用できる強みは何か? ・日本の最南端、最西端に位置する ・サンゴ礁海域を含む美しいビーチがある一方で、山や島々が点在し地形の変化に富むなど多様性がある ・八重山上布、ミンサー織り、豊年祭など伝統文化芸能が豊かに存在する ・石垣牛、八重山そば、猪肉、ヤシガニといった八重山特有の食文化がある	弱み (Weaknesses) ・自地域で改善を必要とする弱みは何か? ・言語障壁があるのと共にグローバル対応が不足している ・人材/医療体制/Wifi環境の整備など観光客を受け入れる体制がまだ整っていない ・特に竹富町の島々の光ネット環境は不十分 ・キャッシュレス化 ・観光業における人材不足
外部環境	機会 (Opportunity) ・自地域にとって追い風となる要素は何か? ・海外主要国との直行便の就航増加と、国際線ターミナルの増改築 ・新クルーズ船用バースの一部供用開始 ・西表島の世界自然遺産への登録の取組 ・日本初の星空保護区認定地域(2019年3月)	脅威 (Threat) ・自地域にとって逆風となる要素は何か? ・八重山の自然環境を保護できるかどうかという課題 ・環境保護と経済成長の摩擦 ・観光客と地元住民との異文化摩擦への懸念 ・伝染病や外来種への恐怖 ・離島での医療対応 ・国境における政治的問題

(2) ターゲット

○第1ターゲット層 オーストラリア、イギリス、フランス、アメリカ、イタリア、香港など欧米を中心としたプレミアムFIT層
○選定の理由、○取組方針 事前調査の結果より、これらの国々のプレミアムFIT層は、八重山諸島の「豊かな自然や風土」、「ローカルフード」、「海」に期待をしていることが判明している。また、香

(別添) 様式 1

<p>港からの石垣直行便が開始したことで、香港及び香港を経由する欧米観光客の需要が見込まれる。よって、これからの市場をターゲットとする。</p> <p>八重山諸島の豊かな自然を体感すること、また地域に根付く伝統文化芸能のコンテンツにこうした外国人観光客が高い関心を寄せていることがわかっているため、これらの外国人観光客のニーズをさらに細分化し、体系的なアプローチを実施することにより、ターゲット層への的確で強力な訴求を行う。</p> <p>※プレミアム FIT 層：</p> <ul style="list-style-type: none">* チケット手配からホテル選びなどを個人で手配する旅行層* 一年に一回以上海外にでかける* 一定レベルのホテルに宿泊する <p>※ニーズ調査（平成 27 年度実施）：</p> <p>国内+海外 8 か国（北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・九州／台湾・香港・韓国・アメリカ・カナダ・イギリス・フランス・ドイツ）を対象に WEB にて八重山諸島の認知度や来訪意向などを調査。</p>
<p>○第 2 ターゲット層（国内）</p> <p>日本国内（特に石垣空港との直行便を有する首都圏/中部エリア/関西エリア/福岡・北九州エリア）からの個人旅行者</p>
<p>○選定の理由、○取組方針</p> <p>平成 33 年までに沖縄県として国内客 800 万人を見込む計画があり、グアムやハワイビーチリゾート観光を希望するような個人旅行者を取り込んでいく必要がある。</p> <p>取組方針については、第 1 ターゲット層に準ずる。</p>

(3) コンセプト

<p>①コンセプト</p> <p>Adventure & Sensibility</p> <p>希少な動植物ばかりでなく島ごとに異なる顔を持つ八重山諸島の島々。その違いや多彩な変化を楽しむ冒険の島。</p>
<p>②コンセプトの考え方</p> <p>希少な動植物が生息する秘境の島々として知られる八重山諸島。自然も人も、食事も文化も、島ごとにその顔つきは様々です。秘境を巡る冒険と、変化にとんだ島々との出会いを大切にし、観光客の方々に島ごとの違いを体感してもらい、その多様性に満足頂きたいと考えている。</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
----	----

(別添) 様式 1

<p>戦略の多様な関係者との共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> * YVBが主催する理事会(3カ月に1回程度)及び八重山圏域ビジョン会議(月1回)を開催。不定期で外部有識者委員会を開催。 * 八重山教育旅行誘致委員会にて教育旅行市場における会議を今後の展開について議論。(年5回程度) * 次年度より「八重山星空ブランディング推進協議会(仮称)」を発足予定。日本初の星空保護区の認定を受け、民間事業者とのネットワークを強化し星空ツアーの実態調査等を目的とする。
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 石垣市特産品振興組合による厳正な審査に合格した特産品に‘石垣市特産品認定証’が与えられ、品質保証・安心の証と制度を実施。 * 石垣市による「石垣島フィルムオフィス」。映画やテレビのロケ支援及び許可申請を調整。地域との撮影協力体制を構築。 * 石垣市観光交流協会、竹富町観光協会による星空ガイド育成講座を通じたガイド認定を実施。
<p>一元的な情報発信・プロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 八重山観光親善大使の公式 SNS を通じた情報配信やプロモーション * YVB、石垣市観光交流協会、竹富町観光協会の HP にて地域イベント情報を配信 * 与那国島の女性観光客の増加を狙った「美人をふやせ。与那国島」の特設 WEB サイト・公式 SNS にて情報発信。 * 次年度ワーキンググループ(委員会)を設置予定。

6. KPI (実績・目標)

(1) 必須KPI

	単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
旅行消費額	億円	657.3 (46.9)	817.1 (84.8)	846.1 (117.1)	965(見込) (128)	1.110 (147)	1.277 (170)	1.478 (196)
延べ宿泊者数	万人	276.9 (3.0)	305.2 (8.3)	341.6 (16.5)	376 (18)	413 (20)	454 (22)	500 (24)
来訪者満足度	%	96.2 (89.7)	97.7 (91.2)	94.9 (95.1)	98 (95)	98 (95)	98 (96)	98 (96)
リピーター率	%	48.4 (17.9)	53.7 (29.7)	56.6 (43.2)	59 (45)	62 (47)	65 (49)	68 (51)

※来訪者満足度：「大変満足」「やや満足」の数値を合算

※リピーター率：2回以上の訪問を合算

※ () 内は国外客

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

3市町基本計画をベースにして、「八重山圏域ビジョン会議」にて策定。
次年度以降は、専門の委員会を設置後、見直し予定。

(別添) 様式 1

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

実績については、沖縄県八重山事務所による「八重山入域観光客数統計概況（推計）」（総計）と沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。

目標値について、目標数値の設定がある「石垣市観光基本計画」で定める達成目標数値（平成32年 1,050億円）をベースに、15%の伸び率で設定。

●延べ宿泊者数

実績については、沖縄県文化観光スポーツ部による「沖縄県観光統計実態調査（推計）」（日本人）と同じく沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。目標値については、実績及び、「石垣市観光基本計画」「竹富町観光振興基本計画」「与那国町観光振興計画」をベースに10%の伸び率で設定。

●来訪者満足度

実績については、沖縄県文化観光スポーツ部による沖縄県観光統計実態調査（推計）」（日本人）と同じく沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。

目標値については、高い水準の現状の維持していくことを目的として設定。

●リピーター率

実績については、沖縄県文化観光スポーツ部による沖縄県観光統計実態調査（推計）」（日本人）と同じく沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。

目標値については、実績及び、「石垣市観光基本計画」「竹富町観光振興基本計画」「与那国町観光振興計画」をベースに5%の伸び率で設定。

(2) その他の目標

指標項目	単位	平成27年 2015年	平成28年 2016年	平成29年 2017年	平成30年 2018年	2019年	2020年
●八重山の教育旅行実施校数	校	79	90	94	102	110 (目標)	130 (目標)
●年間入域観光客数(八重山)	人	1,115,051	1,248,079	1,386,646	1,370,000 (見込)	1,630,000 (目標)	1,780,000
●年間入域観光客数(石垣)	人	1,106,320	1,239,244	1,376,658	1,420,000	1,470,000	1,500,000

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

- 八重山の教育旅行実施数：八重山教育旅行誘致委員会にて検討。実績については八重山教育旅行誘致委員会以外にバス会社へアンケートを実施
- 年間入域観光客数（八重山）：沖縄県「沖縄観光推進ロードマップ」に基づく
- 年間入域観光客数（石垣市）：石垣市「石垣市観光基本計画」に基づく

【設定にあたっての考え方】

- 八重山の教育旅行実施校数：定期的な委員会の会議により検討。2020年まで、関東圏域

(別添) 様式 1

の私立学校の予約件数が増加している。

- 年間入域観光客数（八重山）：沖縄県「沖縄観光推進ロードマップ」での需要予測を目標値として設定。今後、海路からの見込みなどを踏まえて目標数の検討を八重山圏域ビジョン会議等にて策定。
- 年間入域観光客数（石垣市）：石垣市「石垣市観光基本計画」内で2020年150万人を目標としている。平成元年から平成26年までの観光入域客数の推移をもとに回帰分析し、需要予測を見込み数値を決定。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年度	総収入（円）	内訳
平成29年度	52,074,309（円）	【市町村からの補助金】 3,499,000円 【市町村からの事業負担金】 3,383,092円 【県受託事業】 41,963,275円 【収益事業収入】 1,105,000円 【民間企業等からの寄付】 730,000円 等
平成30年度	58,000,000（円）	【市町村からの補助金】 9,000,000円 【県受託事業】 33,560,000円 【収益事業収入】 900,000円 【民間企業等からの寄付】 700,000円 等
平成31年度 （見通し）	55,000,000（円）	【市町村からの補助金】 9,000,000円 【県受託事業】 30,000,000円 【収益事業収入】 900,000円 【民間企業等からの寄付】 700,000円 等
平成32年度 （見通し）	55,000,000（円）	【市町村からの補助金】 9,000,000円 【県受託事業】 30,000,000円 【収益事業収入】 900,000円 【民間企業等からの寄付】 700,000円 等

(2) 支出

年度	総支出	内訳
平成29年度	51,972,252（円）	【観光関連事業費】 44,706,204円 （国内・国外プロモーション費・広告費・人件費 等） 【一般管理費】 7,266,048円 等
平成30年度	64,162,326（円）	【観光関連事業費】 54,269,476円 【一般管理費】 9,892,850円 等
平成31年度 （見通し）	55,000,000（円）	【観光関連事業費】 54,269,476円 【一般管理費】 9,892,850円 等
平成32年度 （見通し）	55,000,000（円）	【観光関連事業費】 50,000,000円 【一般管理費】 500,000円 等

(別添) 様式 1

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

継続的な運営資金確保を可能性を多方面から検討中。

- * 石垣島内の公営施設の管理収入
- * 石垣市法定外目的税制度の導入に関する検討委員会（専務理事が委員就任）
- * 収入源の検討は出来ていないが竹富島での入島税の導入予定（2019年4月以降予定）など

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

石垣市、竹富町、与那国町は、八重山ビジターズビューローを市町村における地域連携DMOとして登録したいので申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	濱田 智佳子
担当部署名（役職）	事務局長
所在地	沖縄県石垣市大川 547 興ビル 206 号室
電話番号（直通）	0980-87-6252
FAX 番号	0980-87-5509
E-mail	chikako@yvb.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	石垣市市役所
担当者氏名	仲大底 まゆみ
担当部署名（役職）	企画部観光文化スポーツ局 観光文化課 課長
所在地	沖縄県石垣市美崎町 14
電話番号（直通）	0980-82-1535
FAX 番号	0980-82-1911
E-mail	mayumi-n@city.ishigaki.okinawa.jp

都道府県・市町村名	竹富町役場
担当者氏名	通事 太一郎
担当部署名（役職）	政策推進課 課長
所在地	沖縄県石垣市美崎町 11-1
電話番号（直通）	0980-82-6191
FAX 番号	0980-82-9901
E-mail	touji-t@town.taketomi.okinawa.jp

都道府県・市町村名	与那国町役場
担当者氏名	小嶺 長典

(別添) 様式 1

担当部署名 (役職)	企画財政課 課長
所在地	沖縄県八重山郡与那国町字与那国 129
電話番号 (直通)	0980-87-2241
FAX 番号	0980-87-2079
E - m a i l	komine-t@town.yonaguni.okinawa.jp

法人名：一般社団法人 八重山ビクターズビューロー
登録区分名：地域連携DMO

【区域】沖縄県石垣市、竹富町、与那国町

(表：実施体制)

(表：KPI(実績・目標))※()内は外国人に関するもの

※次項「図1」参照

【設立時期】平成27年4月1日

【代表者】中山 義隆(石垣市)

【マーケティング責任者】東川平 靖

【職員数】7名(内3名事業雇用)※平成31年1月現在

【連携する主な事業者】・石垣市商工会、竹富町商工会、与那国町商工会、石垣市観光交流協会・竹富町観光協会・竹富町観光協会

八重山経済人会議、JAおきなわやえやま、八重山漁業協同組合、石垣島特産品詰め隊(物産・施設)・八重山タクシー事業協同組合、東バス、八重山観光フェリー・安栄観光(二次交通)・沖縄県建設業協会八重山支部八重山地区宅地建物取引業者会(宿泊施設)・海上保安庁第11管区(修学旅行)

	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
旅行消費額	億円	657.3 (46.9)	817.1 (84.8)	846.1 (117.1)	965(見込) (128)	1.110 (147)	1.277 (170)	1.478 (196)
延べ宿泊者数	万人	276.9 (3.0)	305.2 (8.3)	341.6 (16.5)	376 (18)	413 (20)	454 (22)	500 (24)
来訪者満足度	%	96.2 (89.7)	97.7 (91.2)	94.9 (95.1)	98 (95)	98 (95)	98 (96)	98 (96)
リピーター率	%	48.4 (17.9)	53.7 (29.7)	56.6 (43.2)	59 (45)	62 (47)	65 (49)	68 (51)

誘客プロモーションに関する取組

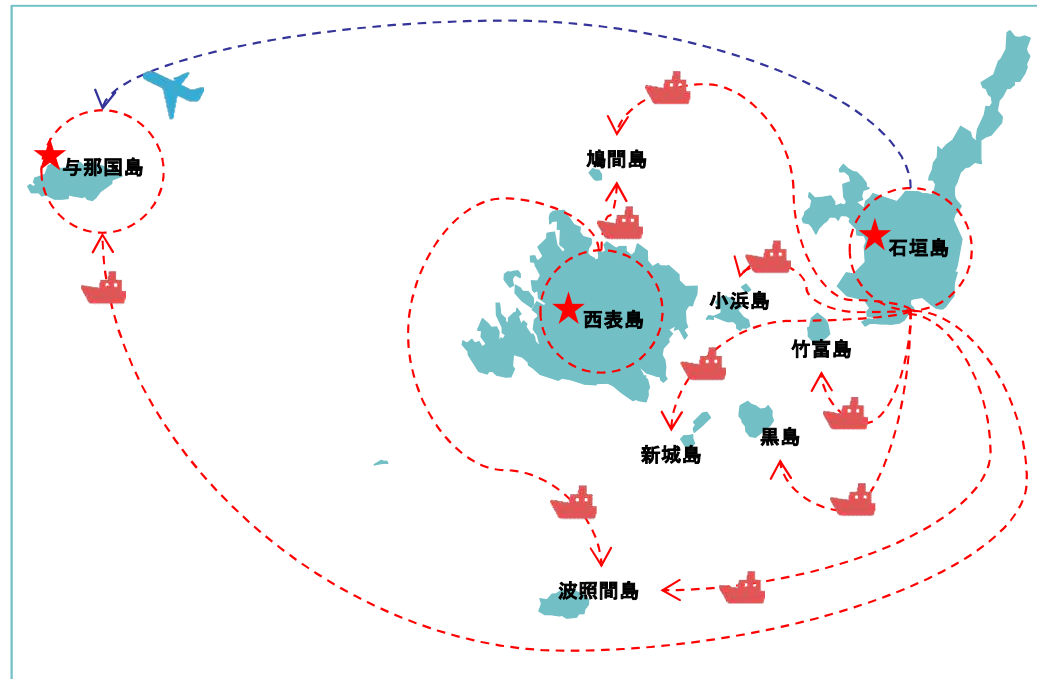
八重山圏域で各島観光の平準化を圏域内に浸透させる。

石垣空港に就航する国外及び県外都市を重要市場と位置付け、運航継続に向けた誘客プロモーションを展開。石垣島から更なる離島への宿泊滞在の促進を強化。SNSによる情報配信などFITの誘客に力を入れている。冬季の誘客に力を入れ年間を通じた観光客平準化を目指す。

八重山・地域物産に関する取組

八重山独自の伝統工芸品や技術を地域物産として確立させ、地域経済の一助とする。

これまでも土産品として親しまれてきたミンサー織りや琉球真珠に加え、インバウンド需要や地域文化を鑑みて、伝統工芸品や地元産商品開発の開発強化に取り組む。‘八重山圏域でしか買えないもの。八重山圏域でしか食べれないもの’に注力し、地消地産を目指す。



八重山・文化に関する取組

- 多彩な文化体験プログラムを開発・実施する
- ・歴史(宮良殿内、オヤケアカハチの碑、石垣市伝統工芸館、唐人墓、730の碑、他)
- ・伝統芸能(ミンサー織り、草木染手織、八重山上布、八重山焼き、挽物)
- ・食文化(石垣牛、ピヤーンシ&八重山そば、泡盛、かまぼこ、黒糖、もずく、アーサ、フルーツ)
- ・その他(希少動植物、御嶽、星空観測、他)

八重山・イベントに関する取組

八重山圏域で八重山観光を支える組織として「八重山はひとつ」を圏域内に浸透させる。

日本最南端の夏の幕開けとなる「日本最南端！八重山の花びらき2019」を日本最西端の与那国島にて2019年3月24日に実施予定。冬季の誘客要因として石垣島・西表島・与那国島ではマラソン大会が実施されている。年間を通し、音楽イベントや伝統行事など各島で実施されている。

YVB組織図 (Phase1 [FY18-2])

